

玉正さやかさんを応援します！



**内田聖子**

国際 NGO 共同代表

国際政治も国政も課題が山積で、草の根から、地域の政治が大きく変わることがますます重要になってきています。2022年、杉並区では、私たち住民が押しあげた岸本聡子さんが区長に当選し、地域から政治を変えていく希望の一步を踏み出しました。この希望の芽が来たる統一地方選挙にて全国に広がり、互いにエンパワメントしあう関係を各地に生み出せればと思っています。地域に希望あり、です。

**山田正彦** 弁護士 / 元農林水産大臣

**中西庄司** 福祉団体職員 (八王子在住)

**岩永やす代** 東京・生活者ネットワーク都議会議員

**前田よし子** 八王子市議会議員



**小松由佳**

ドキュメンタリー写真家 (八王子)

私たちの日々の暮らしが、社会とどう繋がっているのか。それを生活者の視点から丁寧に考え続けること。こうした小さな実践が、より良い世界をつくる力になります。私は、生活者ネットワークを応援しています。

**浅倉むつ子** 早稲田大学 名誉教授

**山田 真** 元八王子中央診療所 小児科医

**島袋善弘** 山梨県立大学名誉教授 (八王子めじろ台在住)

**落合由美** 多摩南生活クラブ生協理事長

**きだあや** 八王子市議会議員

**なるみゆり** 元八王子市議会議員

きだあや からバトンタッチ！

八王子・生活者ネットワーク  
政策委員



小さな声に  
丁寧に耳を  
傾ける

子どもの権利

ケアラー支援

ジェンダー平等

気候危機対策

## 玉正さやか Profile

- 1983年 茨城県水戸市生まれ  
高校在学中にカリフォルニアでホームステイ
- 2006年 カリフォルニア州 サンタモニカカレッジ卒業  
多様な人がお互いを認め合いながら生活することのすばらしさ、誰もが気軽に政治について話し合っていることに感銘を受ける。その後、カリフォルニア州美容師免許を取得し美容室に勤務。
- 帰国後、翻訳業務に従事。
- 2013年 第一子出産を機に、自然豊かな土地で子育てをするために八王子市高尾に転居。仕事をしながら子育てをするなかで、家族だけではなく、地域のつながりのなかで、子どもが成長していくことの重要性を実感する。
- 2018年 生活クラブ生協 勤務福祉事業に携わり、地域福祉の重要性を感じる。
- 2022年 八王子・生活者ネットワーク 政策委員
- 趣味：刺繍、韓国ドラマ鑑賞
- 元気の秘訣：しっかり食べてしっかり寝る。
- 夫と子ども2人の4人家族、その他たくさんの生き物と暮らす。
- 八王子市西浅川町在住



2023年4月23日八王子市議会議員選挙

3 選挙はカンパとボランティアで

2 市民の政治活動資金に

1 議員報酬はローテーション

3つのルール

生活者ネットワーク

議員は原則2期8年で

八王子は豊かな自然環境の中で、市民のつながりや多様な活動、支え合いのコミュニティも数多くあります。一方でコロナや戦争、物価の高騰などの社会変化、子育て・介護の負担増やさまざまな生きづらさなど、待ったなしの課題が増えています。

安心して暮らしていける地域にしていくためには、政治を誰かにお任せするのではなく、「暮らしの道具」として使うことが必要です。生活の中の小さな疑問や課題が政策の基盤です。市民の声で、一人ひとりが大切にされるまち八王子をつくりまします。

# たましろう 玉正 彩加 さやか



多様性を認め合う  
一人ひとりが大切にされる  
まちへ

**NET 八王子・生活者ネットワーク**  
はつらつレポート NO.187 (北版) 2023年2月20日 発行責任者 / 川合幸子

〒192-0066 八王子市本町3-4 TRYビル3階  
TEL.042-623-8802 FAX.042-627-4507  
URL <http://hachiouji.seikatsusha.me/>  
E-mail [hachiouji-net@nifty.com](mailto:hachiouji-net@nifty.com)



玉正さやかの政策はこちらから  
<https://tamashou.seikatsusha.me>

八王子・生活者ネットワーク 玉正さやかの活動を紹介します。



多様性を認め合う

一人ひとりが大切にされるまちへ



子どもの権利

■八王子市議会厚生委員会の所管事務調査のテーマとして取り組んだ

ここが進んだ!

子ども参画で、子どもの権利条例をつくります

2021年、東京都ではこどもの基本条例が施行され、2022年6月には国でも子ども基本法が成立しました。前文には「日本国憲法及び、児童の権利に関する条例の精神にのっとり」と明記されました。「子どもにやさしいまちづくり」をすすめるため、「子どもは権利の主体」であることを誰もが認識し、「子どもの意見を施策に活かす」ことが重要です。

ジェンダー平等

■「八王子市男女共同参画推進条例」制定  
■すべての小中学校を男女混合名簿に実現

ここが進んだ!

2022年、日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中116位でした。生活者ネットワークは女性議員を増やし、多様な声を反映させる地域政党として、「ジェンダー主流化」に取り組んできました。今年度八王子でもようやく「八王子市男女共同参画推進条例」が制定されましたが、共同参画社会の先の、「ジェンダー平等社会」の実現にむけ、実効性ある条例になるよう提案を続けていきます。

ケアラー支援

■ヤングケアラーへの理解が多機関で共有され、連携すすむ

ここが進んだ!

ケアする人もされる人も大切にされる社会へ

一人ひとりが大切にされるまちを目指すためには、高齢になっても、障がいがあっても、子育て・介護などいかなる役割を担っていても、その人の人生を自己決定できるしくみと環境が必要です。多様な選択と決定を支える情報提供や、意思決定のための支援、多様なニーズをとらえた施策メニューが不可欠です。

気候危機対策

■2021年2月に市長が「ゼロカーボンシティ宣言」  
■八王子市生物多様性地域戦略策定スタート  
■公共施設にZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)規定導入

ここが進んだ!

気候変動による影響は、食やエネルギー、自然災害という形で私たちの暮らしを直撃しています。「ゼロエミッションのまち八王子」を実現するために、エネルギー、農林業、里山保全、ゴミ対策、まちづくりなど、市民と協働しながら総合的に進めていくことが必要です。

こんなまちを目指します!

①大事なことは市民が決める

②子どもが主役!すべての子どもがのびのび育つまちへ

- 学校給食の無償化、地場野菜を使ったオーガニック給食をすすめます
- 学校と民間との連携をすすめて、多様な学びの機会と居場所をふやします

③多様性を認めあい、ジェンダー平等社会を実現する

- 意思決定の場を男女50/50にします
- セクハラ、DV、性暴力のない社会をつくります

④自分らしく生きるためのケアを、介護するひとにもケアを

- 子育て・介護をひとりしにしない。ケアラー支援条例を策定します
- その人らしい暮らしを支える総合的な医療「プライマリ・ケア」を推進します

⑤安心して生きるためのくらしを保障する

- 住まいは人権!すべての人にくらしの基盤を保障するしくみをつくります
- 制度の狭間でこぼれおちることがないように、セーフティーネットを強化します

⑥地域で働く!地域循環型コミュニティ経済へ

- ワーカーズ・コレクティブなど、多様な働き方を支援します
- 社会的企業や「ソーシャル・ファーム」を育てます

⑦まったなし!気候危機対策 みどりを守り、命を守る

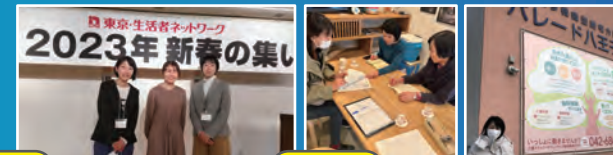
- 原発ゼロ!食もエネルギーも地産地消をすすめます
- 女性の視点や多様なニーズに配慮した、災害対策をすすめます

⑧平和憲法を活かし 戦争のない社会をめざす

- 民族、ジェンダー、障がいの有無、出自など、全ての差別や偏見に起因する、ヘイトスピーチ・ヘイトクライムの根絶に取り組みます



暮らしと政治を結び  
コーディネーターとしての  
役割を果たしていきます!



勉強会



対話カフェ



視察



●八王子地域協議会主催、農産物食品分析センター所長 八田先生の「どうなってる? 「くぼいなみさんの憲法のおはなし」 参加 ゲノム編集食品」参加  
●まち八王子北・南合同企画のまちカフェ  
●八王子市内の市民農園見学